

栃木県農業大学校 令和6年度学校評価 計画シート

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目 評価指標	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	担当			
				学部・塾	内容							
3 進路指導の強化	<p>(現状)</p> <p>○R5農業生産学部雇用の含まれた就農率（研修後就農を含む）は40.8%と低迷している。 なお、進路決定率は90.0%であった。</p> <p>○研修修了生（専門研修コース）の農業従事率は91.1%であった。</p> <p>○生産学部卒業生の雇用を含めた就農率（研修後就農を含む）は各科、コースによって較差が大きく、全体的には低迷傾向にある。</p> <p>○全入学者に占める非農家出身の学生の割合は6割を超えている。</p> <p>○雇用就農を希望する学生も増加しているが、畜産部門では農業法人からの求人は多いが、その他は少なく、希望する部門と求人が必ずしもマッチしない。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大が学生の進路選択にも影響し、就職活動は活発化している。</p>	<p>進路 ・農業生産学部 就農率計 60%</p> <p>進路決定率 100%</p> <p>（就職率、農業 関連団体・企業就職率）</p> <p>・未来塾 専門研修修了生 農業従事率 80%</p> <p>就農実現率 80%</p> <p>（就農を目指す 学生のうち就農 出来た者の割合）</p>	(1)進路希望の把握と的確な進路指導	生産学部 経営学部 未来塾	○個別面談の充実 ・1年生に対する早期面談の実施等、学生の希望や特性に応じた就農、就職活動の支援					学生部会		
					○就農希望者への支援の充実 ・1年生を対象とした雇用就農理解促進研修会等の開催 ・2年生を対象とした雇用就農求人先とのマッチング支援							
					○4年制大学等への編入希望者に対する支援							
					○資格取得の支援							
			(2)就農イメージの早期確立	○農業法人等へのアプローチ ・求人を希望する法人に対する雇用就農理解促進研修会のPR								学生部会 教務部会
			(3)雇用就農等斡旋機能の強化	○求人情報等の充実 ・研修会の開催による雇用就農希望者の把握と受入生産者のマッチング支援 ・HP掲載の求人票のバージョンアップ		生産学部						学生部会

目指す方向 魅力ある農大づくり ～農大の価値を高め、とちぎの農業を担う人材を育成する！～

重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	取組項目		経過・達成実績	達成度	次年度の課題と改善方向	主担当
		評価指標		学部・塾	内容				
	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業大学校の設置目的を踏まえ、就農への誘導等にしっかりと取り組み、就農率の向上を図る必要がある。 ●非農家出身者でも就農や農業関係団体への"就職に強い進学先"としての評価を高めるため、進路決定率100%を達成していく必要がある。 ●R5年度以降の就職活動についても、引き続き、新型コロナウイルス感染症による社会、経済への影響が懸念されることから、農業法人や企業等と連携を密にし、学生に対する支援を積極的に行う必要がある。 ●就職であっても将来的にUターン就農されるよう、意識付けを図っていくことが必要と考えられる。 ●就農する学生・塾生に対しては農業振興事務所及び就農コーディネーターと連携した就農計画作成支援や農地確保など、農大内外での協力支援が必要である。 			経営学部 未来塾	<ul style="list-style-type: none"> ○農業振興事務所や関係機関との連携による就農支援 ・農振事務所担当との面談や就農支援会等によるオーダーメイド型就農支援の実施 				<p>学生会 教務部会 未来塾担当</p>